

年末年始

飛行活動停止を要請



11月17日、市長と市議会議長・基地対策特別委員会委員長が、在日米海軍と厚木航空施設の両司令官に年末年始の飛行活動停止を申し入れました。南関東防衛局長と海上自衛隊第四航空群司令にも協力を要請し、外務大臣と防衛大臣などには、米軍への申し入れを行うよう要請しました。また、学校行事などの際の騒音軽減徹底も申し入れました。
図基地対策課 ☎70・5604。

Table with 4 columns: 科目 (Subject), 診療日 (Clinic Day), 受付時間 (Reception Time), 場所・☎ (Location/Phone). Rows include 内科小児科 (Internal Medicine/Pediatrics), 歯科 (Dentistry), and 調剤薬局 (Dispensary).

年末年始・休日の医療機関 急病や健康相談にも対応

年末年始や休日には、保健医療センター内の綾瀬休日診療所・歯科診療所・調剤薬局で救急患者を受け付けます。迅速に診療を受け

られるよう座間綾瀬医師会、大和歯科医師会、大和綾瀬薬剤師会が開設するものです。受診の際は、診療費と健康保険証を持参して

1月から実施 寡婦(夫)控除のみなし適用

1月から、税法上の「寡婦(夫)控除」が適用されない「未婚のひとり親家庭」について、寡婦(夫)控除のみなし適用を実施します。保育所保育料や子育て支援事業、ひとり親家庭や障がい児・者などを対象とする事業の負担額などが、同控除があるものとして算定されます(税法上の控除を受けられることはできません)。婚姻歴がなく、現在も婚

くください。
図同センター ☎77・1133。
かながわ小児救急ダイヤル 夜間、子どもの急な発熱や体調不良などで判断に迷ったことはありませんか。家庭での対処方法や医療機関にすぐかかる必要があるかなどの助言が受けられます。毎日18時〜24時、☎#8000(プッシュ回線、ISDN回線、携帯電話) ☎045・722・8000(ダイヤル回線、IP電話)。

あやせ24時間健康相談

心や体の健康などについて気軽に相談できます。医師や保健師などの専門職が、24時間体制で電話相談に応じます。☎0120・1192・61。

観光まちづくり

着地型旅行の継続・充実

素敵なあやせ観光まちづくりプランのメインテーマの一つ「特色あるまちづくり」のサブテーマ「着地型旅行の継続・充実」では、サイクルツアーやまち歩きツアーなどを開催しています。綾瀬の魅力を生かして、観光を創出しようと、25年度に市が設立した市民の観光振興検討組織「あやせプロモーションクラブ」が、今年度は3回のツアーを企画しました。1回目は工業団地を歩いて回る「ものづくり見学ツアー」を9月に、2回目は市内農園と厚木基地を巡る「あやせならではツアー」を11月にそれぞれ開催し、市内外から多くの方が参加しました。3回目には、来年3月に「びゅ〜っとあやせ」を開催し、市内の見所とグルメスポットに設けられたチェックポイントを自転車で巡るスタンプラリーを行う予定です。詳しくは、広報あやせ2月1日号でお知らせします。
図商工振興課 ☎70・5685。



▲昨年度実施したびゅ〜っとあやせ

みなし適用を実施しても、所得状況などにより、負担額などが変更にならない場合があります。詳しくは問い合わせてください(市ホームページで閲覧可)。
図子育て支援課 ☎70・5664。

きらめき 市民活動

まちかど特派員 レポート 秋元謙治



釜田さわやかクラブ

岡比佐 ☎77・8836



▲暑気払い

釜田さわやかクラブは60歳以上の方が集い、地域社会との交流活動を通じて、31年になる団体です。比佐文男会長をはじめ、会員143人の平均年齢は「76歳くらいかな」とのこと。驚いたことに、91歳の方が農業にいそしみながら、元気にクラブの活動を続けているそうです。同クラブでは会報誌「さわやか」を年2回発行しています。活動状況を伝える誌面には、爽やかな笑顔があふれています。最新のニュースでは、10月に行われた綾瀬・海老名・座間市の「三市親善スポーツ大会」のバードゴルフで、見事優勝しました。25年には、在宅で寝たきりや一人暮らしの高齢者を訪問し、話し相手になったり、相談や家事援助を行ったりすることで、安心して日常生活が送れるよう支援してきた「友愛チーム」が、長年にわたる奉仕活動の功績により、県知事表彰を受けました。



▲研修会

同クラブは、学童の見守りや、寺尾小学校の授業の一環として、子どもたちと一緒に竹とんぼやお手玉などの昔遊びを楽しむ、子どもたちとのふれあい活動も実施しています。同会長は「寺尾釜田地区も、他の地区と同じように高齢化が進んでいます。高年齢者や高齢独居者の方々が気軽に参加できる会の運営と、入会の普及活動を積極的に進めたい」と話します。同クラブの活動を熱く語る同会長の言葉に、地域への愛と、ふるさとの明日を担う子どもたちへの思いやりの心を強く感じました。